

1. 環境学習コーディネート実施概要（Web 掲載）

依頼No	9	事例No	6	依頼者	岩倉市商工農政課	実施場所	岩倉市生涯学習センター
実施対象	一般市民 15名						
実施日時	令和4年10月5日（水）10時～11時30分						
テーマ	知っておこう！私たちの水と暮らしについて						

●依頼内容

岩倉市消費生活講座の講師を紹介してほしい。家庭から排出される水を綺麗にすることで、自然環境を守ることに繋げたい。水環境を守ることがSDGsの取り組みにもつながるようにしたい。さらに、水の汚染を防ぐために自分たちに何ができるかを考えてもらうため、地球にやさしい洗剤の選び方や重曹などを使った自然に優しい「ナチュラルクリーニング」を用いた掃除方法についての授業をしてほしい。

●講師：児玉 剛則 氏（名古屋産業大学大学院非常勤講師）

児玉剛則氏は、環境行政やごみ問題に詳しく、学生や地球温暖化防止活動推進員、一般市民等を対象とした各種講演会等の実施経験がある。令和元年度には、小牧市市民安全課からのコーディネート事業の依頼により、プラスチックと環境問題をテーマに講師を務めた実績がある。

●授業の内容

講義	私たちの暮らしに関わる水について、飲み水や生活用水、生活排水に分けて説明が行われた。私たちは1日あたり平均214ℓもの水を使用しており、河川水や地下水には環境基準が、飲み水には51項目の水質基準項目が定められていることを参加者たちは学んだ。さらに、水道水が私たちのもとに届くまでのプロセスや、生活排水の汚れの程度、下水処理の仕組みなどについて学んだ。また、岩倉市における下水処理の整備状況や雨水貯留施設等の補助金制度について、紹介があった。環境に優しい重曹のような洗剤をはじめ、洗剤によって汚れが落ちる仕組みについても学んだ。今年9月に静岡市内で発生した台風15号による記録的な大雨の影響に伴う大規模な断水被害について紹介があり、水の大切さがより強調された。	70分
グループディスカッション	グループディスカッションに先立って、SDGsの目標6「安全な水とトイレを世界中に」の説明があった。その後、受講者は、5人ずつ3つのグループに分かれ、「一日に使う水の量や節水」「環境保全のために川や海、山からごみを持ち帰る」「水辺の清掃に参加する」といった具体的なアクションや問題点等をテーマに自由にディスカッションを行った。	20分

●授業の様子

講義は、私たちの暮らしと切り離すことができない身近な「水」がテーマだった。私たちのもとに水が届くまでのプロセスや、水利用の実態、下水処理や洗浄の仕組みなど、普段あまり気にしていない水に関わる内容だったため、受講者は熱心に講師の話聞いていた。また、講師は終始受講者に問いかけるように講義を行っており、少人数ならではの和やかな雰囲気となっていた。

暮らしの中の水について学んだ



グループディスカッションを行った

